



# 朝風

平成 23 年度  
学校報 10 月号③  
大 仙 市 立  
大 曲 南 中 学 校

～ 乾坤一筆 ～

## 「後期を迎えるにあたり」

校長 黒田 清 志

今年度も早いもので、後期が始まりました。前期を振り返ってみますと生徒会を中心とした多くの学校行事、運動部の春季・全県・秋季総体、吹奏楽部のコンクールや南の子供音楽祭等、生徒たちは手を抜くことなく真剣に取り組んでくれました。まだ、全県の秋季大会は残っているものの、学校としての大きな行事は終りに近づいています。前期を「動」とたとえるならば、後期を「静」とし一人一人の生徒の長所の伸長と弱点の克服にじっくり取り組み、落ち着いた雰囲気の中で「学習」を中心に頑張らせたいと考えています。

さて、私事ですが、秋休み最後の 10 月 15・16 日に大曲南中学校 2 期生（角間川校舎）の同窓会が行われました。55 歳の節目ということで、田沢湖高原へ宿泊を兼ねての会でした。風貌は白髪が増え、お腹周りが太くなり昔の姿に似ても似つかない体型になっても、話をすればすぐに 40 年前に逆戻りし楽しいひとときを過ごすことができました。参加者の中には、仙台から 3.11 の東日本大震災で家屋が損壊したにもかかわらず、元気な姿を見せてくれ全員で無事を喜び合った仲間もいました。酒が入るにつれ、自分の仕事のことやこれまでの「苦労話」や「家庭のこと」など話は尽きませんでしたが、話をしているうちにふと感じたのが「社会人になっていろいろ苦労もしたけど、中学校時代の〇〇があったから頑張れた。」「今あるのは、〇〇先生のあの言葉があったからだ。」「あのときは〇〇君のお陰で助かった。」など、中学校時代が高校や大学に比べ人生に於いて大きな影響力を与えてくれたことを知りました。

ふと振り返り、今、母校の大曲南中学校に勤務している私が「今の南中生に、私たちの時代のように将来に渡って影響を与えるような教育をしているだろうか」「この生徒たちを、社会にでて立派に活躍できる人間となるように育てているだろうか」と不安が頭を掠めました。

今年度も残り半年となりました。私自身が初心に戻り、「目先の高校入試突破だけに偏らず、将来、一人の人間として社会を乗り切っていく『生きる力』（思考力・判断力・表現力）を身につけ、自分の進路に向け努力できる生徒を育てなければ!!」と考えさせられた秋休みでした。

～ 55 歳同窓会から、感じたこと～



## 約 10.8 万個 + α!?

ご協力いただいて集めたペットボトルキャップの山を南中祭の時に、環境ブースの廊下に展示して、「いったい何個あるのでしょうか?」という無茶なクイズをしました。(総重量は 27kg で、キャップ 1 個当たりの重さで割ると約 10 万 8 千個の計算になります。) 正解者の久米啓之さん、おめでとうございます!



そして先日、藤木小学校の林先生とボランティア委員の皆さんが 450 の袋 2 つ分のペットボトルキャップを持ってきてくれました。ありがとうございます!(写真がヘタですみません。)

集まったペットボトルキャップは 19 日、生徒会役員がトヨタカラーさんに届けました。さて、何人分のワクチンとなるのでしょうか?(なお、中にはキャップがワクチンに変化すると思っている生徒がいましたが、違います!)



## 情報モラル教室

3 年生を対象に、「携帯電話にひそむ危険!」と題した情報モラル教室を行いました。講師は、大仙警察署少年係の藤本さんと生活安全課の高山さんです。「悪気の無いこんなことも犯罪です」と様々な事例を挙げて説明してくださいました。

## 美郷駅伝 → ミニ駅伝・マラソン大会

10 月 19 日 (水)、美郷町新人駅伝が行われました。

**男子：20 チーム中 7 位 女子 20 チーム中 11 位**

田沢湖駅伝終了後も、朝練習や試走を重ねてきた選手たちからは、「もう少し…」という声も聞かれました。しかし、そういう言葉ができるのはそれだけまじめにがんばってきた証拠だと思います。

確かに、上位校の壁は厚く、本校は特に女子の選手層が薄いという課題もあります。しかし、自主的に朝黙々と 3 キロを走る生徒も出てきました。南中の逆襲はこれからです。というわけで 24 日は、校内ミニ駅伝・マラソン大会です。

- 🚩 開会式 8:50
- 🚩 マラソンの部 9:20 ~ 9:40
- 🚩 駅伝の部 9:50 ~ 10:50

コースはグラウンドと校舎周りの予定です。是非お出でください。

